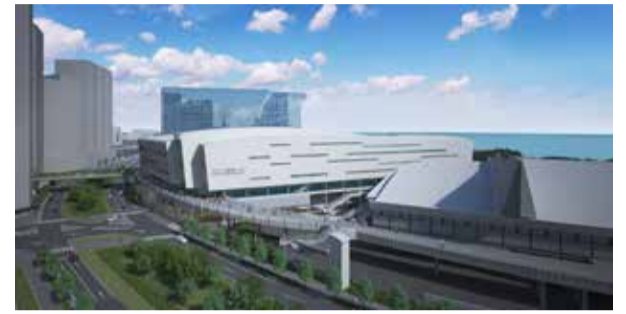




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横浜みなとみらい国際コンベンションセンター	階数	地上6F地下1F
建設地	横浜市西区みなとみらい一丁目9番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	13,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,712 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 竣工	評価の実施日	2020年3月3日
敷地面積	21,039 m ²	作成者	笠井 香澄
建築面積	20,438 m ²	確認日	2020年3月3日
延床面積	46,296 m ²	確認者	笠井 香澄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.4

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 横浜市みなとみらいに計画されたコンベンション施設である。高効率器具等の採用、地域冷暖房方式の採用により高い省エネ性能の確保を行っている。また、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した計画としている。		その他 -
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆の材料を使用している。 ・建屋内全館禁煙である。	Q2 サービス性能 ・高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・自生種の保存や食餌木植物の採用により、生物環境の保全と創出に配慮している。
LR1 エネルギー ・省エネ機器の採用等により、エネルギー消費量低減に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。 ・再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・駐輪場・駐車場の計画は利便性、交通渋滞緩和に配慮している。 ・屋外照明の計画は、周囲への漏れ光に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(~)を示し記述してください。

建物名称 **横浜みなとみらい国際コンベンションセンター**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **30** %削減



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合

受付日 2017年5月23日

エネルギー対策 (建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 効率的運用)

断熱性能の高い外皮・窓材を採用しており、室内への熱負荷の低減を図っている。

BEI=0.70。

各種エネルギーの効率評価を行うことができる。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **4**

室内環境対策 (温熱環境対策 光環境 空気質環境)

断熱性能の高い外皮・窓材を採用しており、室内への熱負荷の低減を図っている。

建屋内全館禁煙である。

機能性対策 (機能性 知的生産性向上の取組)

防汚性の高い材料の使用、屋外の金属部には亜鉛メッキ処理等、維持管理に配慮した計画。

室外環境(敷地内)対策 (敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **4**

耐用性・信頼性 (耐震・免震 部品・部材の耐用年数向上 信頼性)

重要度係数は1.5以上を確保している。

耐用年数の長い内装仕上げ材・ダクト材・配管材を使用している。

非常用発電機設備の設置等、防災への配慮した計画。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **4**

室外環境(敷地内)対策 (生物環境 まちなみ・景観 地域性への配慮)

周辺へのまちなみに配慮した景観計画

空間提供による地域貢献、防犯に配慮した計画。

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

BEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄熱設備・雨水等利用設備